

# ●智将● 小早川隆景



アヤメちゃんは、小早川隆景がどんな人か知っているかね？



毛利元就さんの子どもで、三原城を築いた人ですよね。でも、どうして三原に来たの？



隆景は、広島県の北部、吉田(現在の安芸高田市)生まれで、12歳のときに竹原小早川家の養子となり、18歳で沼田小早川家を継いだんじや。その後、瀬戸内海各地で活動する水軍を指揮するために三原城を築いたんじやよ。



おかげで瀬戸内海での毛利軍の力が強くなった

んですね。



▲三原城跡の船入櫓



隆景は、戦略や戦術に優れていたから「智将」と呼ばれ、隆景の兄の元春は、武道に優れていたから「武将」と呼ばれたんじや。隆景にはもう一人の兄、隆元がいるんじやが、父の元就は、3人の性

格の違いを心配して、「1本の矢は簡単に折れるが、3本にすると折れない。3人が力を合わせてやりなさい」と教えたんじや。



それは「3矢の教え」です。サッカーチームのサンフレッチェ広島のリゴマークにも、チームが強くなるようにと3本の矢が使われていると学校の先生に教わりました。



瀬戸内に力を広げた隆景は、その後、天下統一をした豊臣秀吉の重要な家臣である五大老ごたいらうになり、愛媛や福岡で豊臣政権のために働いたんじや。最後は、三原に帰って亡くなって、西宮一丁目

の法常寺で盛大な葬儀が行われ、お墓は沼田東町の米山寺にあるんじやよ。



▲隆景の葬儀が行われた法常寺



隆景さんが立派なお殿様だったのがよく分かりました。今度家族でお墓参りに行こうと思います。